

優秀賞



花岡郁哉

設計者

花岡郁哉 桑原裕彰

東京建築士会、(株)竹中工務店 東京本店 設計部

東京建築士会、(株)竹中工務店 東京本店 設計部(現在...設計本部)



桑原裕彰

事務所・店舗

東京都豊島区南池袋

池袋第一生命ビルディング

構造・階数

鉄筋コンクリート造、
一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
地上10階、地下1階、屋上1階建て

敷地面積

594.59㎡

建築面積

502.38㎡

延床面積

5,212.06㎡

竣工

平成26年4月30日



A

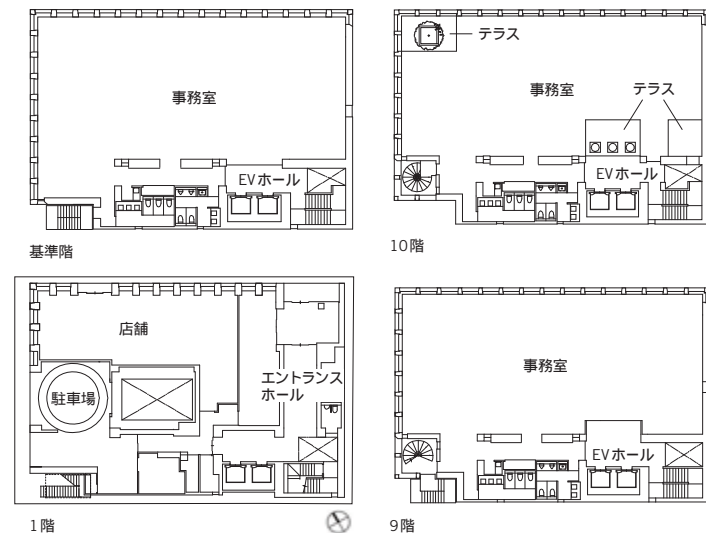
選評

池袋駅東口から南東に伸びるグリーン大通りが高速道路にぶつかる端部に位置した、中規模オフィスビル。1階にはカフェが入り、2階、3階はテナントオフィスとして、4階から10階が第一生命の池袋支社・営業所として使われている。

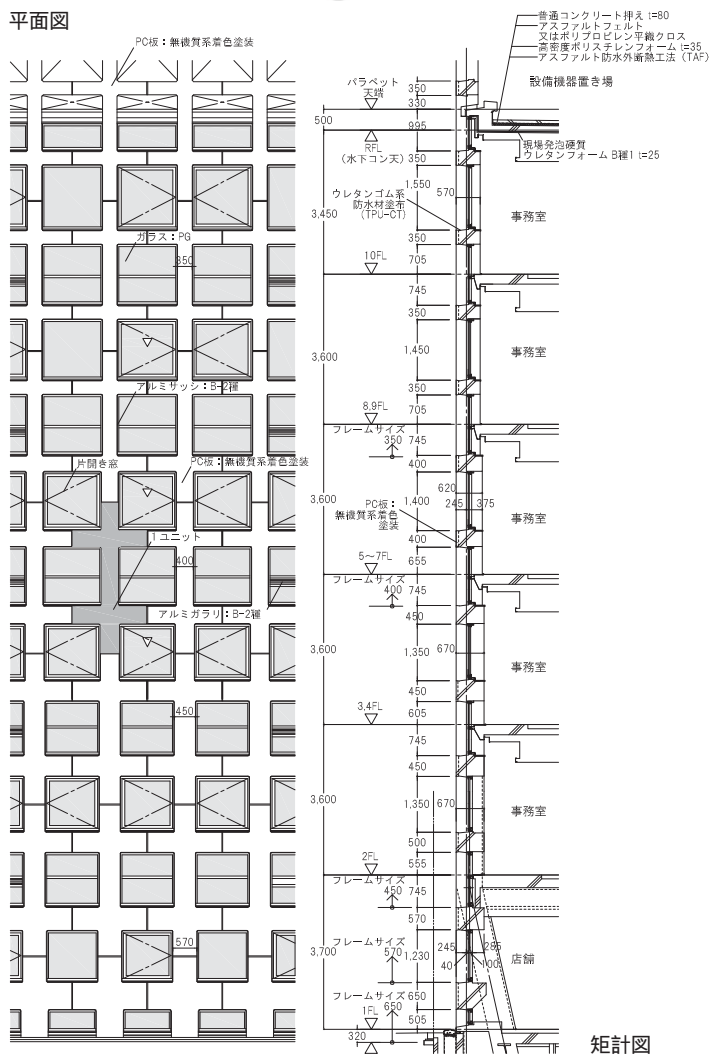
高速道路が走り、中規模ビルが建ち並ぶ雑然とした都市空間の中に、このオフィスビルは大通りの緑と呼応した清楚な外観を見せている。1.8mモジュールの外殻構造は、構造体として「一枚の布のように」建物を包み、半ユニット分ずれたスラブは、その中に「浮遊」という表現がとられた。構造体の深い奥行

きによって日射は遮られ、熱負荷を抑えることも意図されている。

都心の建築物の中で、かなりのパーセンテージを占めるこうしたテナントオフィスビルは、ともすれば経済的合理性の論理のみで処理されてしまうことが多いが、この建築は、外部環境との関係を追求した点、コンパクトで使いやすい執務スペースを実現した点、経済合理性とコンセプトの両立を図った点、環境負荷の低減を追求した点など、多くの面でこうしたオフィスビルのあるべき姿を示した「モデル」として出現していると言えよう。(松川淳子)



平面図



矩計図



C



B



D

- A 低層部窓まわり。大通りの喧騒から守られた落ち着いたあるインテリア
- B 北西外観。地面から空へと開口率が緩やかに変化する
- C 北西外観。一般的な建物スケールを裏切る1.8mモジュールのファサード
- D エントランスホール。メッシュに包まれたコアが軽やかに浮かぶ
写真撮影...井上 登